



平和首長会議ニュース

2018年1月 / 第97号

平和首長会議加盟都市数
162 各国・地域 **7,536** 自治体
日本国内加盟自治体数：1,716
(2018年1月1日現在)

平和首長会議の最新ニュースはこちらでチェック！

◆ウェブサイト:

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/index.html>

◆フェイスブック:

<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>

「いいね！」をお待ちしています。

<<今号の内容>>

- ICAN 事務局長が広島・長崎を訪問しました
- 平和首長会議事務局がボルゴグラード市(ロシア)からインターンを受け入れました
- 加盟都市の活動紹介
- ヒロシマ発平和関連ニュース(中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事)
- 平和首長会議行動計画(2017年-2020年)に掲げる取組の実施にご協力ください
- 「広島・長崎講座」の普及にご協力ください
- 被爆樹木の苗木等の配付事業のご案内【年度内配付可能です】
- 平和首長会議情報システムについてのご案内
- 12月の平和首長会議会長訪問
- 平和首長会議加盟自治体数: 162 各国・地域 7,536 自治体

■ICAN 事務局長が広島・長崎を訪問しました

[1月12日~18日]

2017年のノーベル平和賞を受賞した核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)のベアトリス・フィン事務局長が受賞後初の海外訪問の場として日本を選ばれ、1月12日から長崎・広島・東京を順次訪問し、各地で講演されました。

フィン事務局長は、長崎市において市民セミナー等で講演を行った後、広島市で平和記念資料館の見学や被爆体験証言の聴講を行うとともに、「ICANのベアトリス・フィン事務局長と語る: 平和な世界の実現に向けて」と題した若者との対話集会に出席されました。この集会には多数の高校生・大学生を含む約340人が参加し、若者から多くの質問も出て活発なやりとりが交わされました。(集会の様子は、後日平和首長会議ウェブサイトに掲載予定)

東京では、国会議員との討論集会に出席するなど、1月18日まで各地で積極的に活動されました。

平和首長会議では、昨年8月の第9回総会で策定した行動計画において、ネットワークを構築していく団体の一つとしてICANを挙げており、核兵器廃絶という共通の目標に向け、今後も情報交換・連携を継続していく予定です。



広島市で若者との対話集会に参加するフィン事務局長

=====

■平和首長会議事務局がボルゴグラード市(ロシア)からインターンを受け入れました

[2017年12月4日～20日]

=====

平和首長会議では、平成26年度から平和首長会議インターンシップを実施しています。この事業は、平和首長会議の役員都市やリーダー都市から職員等をインターンとして広島に招へいし、平和首長会議事務局の業務に従事してもらうことにより国際的な業務の推進を図るものです。また、インターンに被爆の実相についての理解を深め、ヒロシマの思いを共有してもらうことにより帰国後のそれぞれの都市で核兵器廃絶に向けた活動の充実、加盟都市間のネットワークの強化を図ることを目的としています。

12月4日から20日まで、平和首長会議の副会長都市であり、ロシアにおけるリーダー都市でもあるボルゴグラード市からインターンを受け入れました。

今年度末までに、テヘラン市(イラン)、グラナラズ市(スペイン)からのインターンを受け入れる予定です。

▼ボルゴグラード市からのインターンの活動について(平和首長会議フェイスブック):

<https://www.facebook.com/mayorsforpeace/posts/1828753994051992>

<https://www.facebook.com/mayorsforpeace/posts/1831660620427996>

<https://www.facebook.com/mayorsforpeace/posts/1832159043711487>

<https://www.facebook.com/mayorsforpeace/posts/1835057120088346>

=====

■加盟都市の活動紹介

=====

*板橋区(東京都)

「板橋平和のつどい」を開催

板橋区では、昭和60年の「板橋区平和都市宣言」以来、さまざまな記念事業を実施しています。その一環として、毎年11月上旬に「板橋平和のつどい」を開催しており、平成29年度は11月2日(木)に実施しました。開会前には、広島市の「平和の灯」と長崎市の「誓いの火」から採火した灯を合わせた「板橋区平和の灯」パレードが行われました。このつどいでは、参加者全員による「板橋区平和都市宣言」の朗読や、8月に広島市・長崎市での平和式典や被爆体験講話会への参加に加え、資料館の見学などの平和学習を行った中学生による体験発表、映画「母と暮せば」の上映が行われました。

▼「板橋平和のつどい」について(板橋区ホームページ):

http://www.city.itabashi.tokyo.jp/c_kurashi/058/058405.html

<<貴自治体の平和活動の情報をお知らせください>>

平和首長会議事務局では、新しい行動計画に盛り込まれている平和教育や平和文化等に関する行事実施の情報を募集しています。平和首長会議ウェブサイトの「加盟都市の活動」コーナーでご紹介しますので、記事のタイトル、英語版の有無、リンク先等の詳細を、次のアドレスにご連絡ください。

▼Eメール: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

海外加盟都市の平和首長会議行動計画に基づく取組に関する情報を、以下のリンクからご覧いただけます。

▼平和首長会議行動計画に基づく取組実施都市等一覧(海外)(1月10日現在)(平和首長会議ウェブサイト):

http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/03_newmembers/2017_List_of_Activities_jp.pdf

=====
■ヒロシマ発平和関連ニュース（連載第 39 回）

[中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事]

=====
新年早々、1 枚の写真が注目を集めています。原爆投下後の長崎で撮影されたものです。撮影者は米軍人のジョー・オダネル(Joe O' donnell)氏。亡くなった弟を背負い、直立不動のまま火葬の順番を待つ少年が唇をかみしめる。「焼き場に立つ少年」と呼ばれる日本では有名なカットです。これを、ローマ法王フランシスコが世界中に広めるよう指示しました。

世界に影響力を持つ法王はかねてから核兵器廃絶を強く望み、核保有を明確に批判したと報道で伝えられています。バチカンが核兵器禁止条約を真っ先に批准しました。その法王のメッセージの意味は、こうなのでしょう。核兵器、そして戦争がどんな悲劇をもたらすのか、今こそ立ち返って考えるべきだ—。

2018 年は核兵器禁止条約の発効に向けた重要な 1 年になるでしょう。「核兵器の終わりの始まりにしようではありませんか」。12 月のノーベル平和賞授賞式で、被爆者のサーロー節子さんが演説で訴えた言葉を、あらためて心に刻みたいと思います。条約の発効に必要な 50 カ国の批准ができるかどうか。平和首長会議のネットワークも当然、重要な役割を果たします。特に被爆国日本の足元では、加盟率は 100%に迫っています。

これから始まるさまざまな動きの原点は法王の呼び掛けを待つまでもなく、ヒロシマ・ナガサキの惨禍の記憶を思い返すことにあります。

関連記事は次のアドレスで読めます

○平和首長会議 国内 100%達成へ働き掛け強化

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=80060>

○核禁止条約 発効なるか 今年 50 カ国の批准焦点

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=79879>

○原爆資料館の収蔵品発信 平和メディアセンター10 周年

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=79930>

○条約署名 56 カ国・地域に 被爆者ら各国に働き掛け

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=79778>

○サーロー節子さん ノーベル平和賞受賞演説全文

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=79180>

=====
■平和首長会議行動計画(2017 年-2020 年)に掲げる取組の実施にご協力ください

=====
昨年 8 月に長崎市で開催された第 9 回平和首長会議総会において、「平和首長会議行動計画(2017 年-2020 年)」が策定されました。この計画に基づいて、核兵器のない世界の実現に向けた国際世論を醸成・拡大するための取組の実施にご協力ください。

▼「平和首長会議行動計画(2017 年-2020 年)」(平和首長会議ウェブサイト):

http://www.mayorsforpeace.org/jp/report/meeting/data/9th_meeting/Action_Plan_2017-2020_J.pdf

【取組事例】



=====

■「広島・長崎講座」の普及にご協力ください

=====

平和首長会議では、被爆の実相や戦争の悲惨さ、核兵器の非人道性、平和の尊さなどについて学ぶ大学(大学院を含む)の講座を「広島・長崎講座」として認定し、その普及を図っています。

現在までに、国内 50 大学、国外 21 大学の計 71 大学の講座を「広島・長崎講座」として認定しています。昨年 10 月には広島都市学園大学、12 月にはエリザベト音楽大学の講座を新たに認定したところです。

加盟自治体の皆様においても、自治体内及び周辺の大学に、「広島・長崎講座」について、是非ご案内ください。

▼「広島・長崎講座」について(平和首長会議ウェブサイト):

http://www.mayorsforpeace.org/jp/hnpc/hnpc_top.htm



「広島・長崎講座」の普及に
ご協力ください

=====

■被爆樹木の苗木等の配付事業のご案内【年度内配付可能です】

=====

平和首長会議では、第 9 回総会において策定された行動計画に沿った取組として、被爆樹木の苗木の配付事業を継続して実施しています。

被爆樹木の苗木は年度内に配付可能です。小・中学校の平和学習での活用や公共施設の改修にあわせた記念植樹など、平和のシンボルである被爆樹木二世の育成を通じて、市民の平和意識の醸成に取り組んでいただきますよう、ご検討をお願いします。

被爆樹木の苗木の配付を希望される場合、所定の申請書を E メール又は FAX にて事務局までお送りください。

※この事業は、通年で行っているため特に申請期限はありません。また、来年度以降も継続して実施しますので、来年度以降の受け入れについても、是非ご検討いただければ幸いです。

▼E メール: kokunai-mfp@pcf.city.hiroshima.jp

▼FAX: 082-242-7452

▼被爆樹木の苗木の配付申請書等のダウンロード

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/ecbn/effort.html#section04>



被爆樹木二世の苗木を
育ててください

=====

■平和首長会議情報システムについてのご案内

=====

平和首長会議では、加盟自治体間の情報共有促進を目的として、「平和首長会議情報システム」を運用しています。このシステムを利用して、各加盟自治体の情報の検索、各自治体の情報の更新等をしていただくことが可能です。平和首長会議の活動のために本システムを積極的に利用していただければ幸いです。

なお、首長や担当者の氏名・連絡先等、システムに登録している情報に変更が生じた場合は、平和首長会議事務局に修正依頼するのではなく、本システムにログインし、速やかに修正してください。ログイン ID 等が不明の場合は、メールにてお問合せください。各自治体の情報を常に最新のものに更新していただきますようお願いいたします。

▼システムの URL: <https://www.mfpinfosys.org/>

平和首長会議情報システムに関するご質問等があれば、次のアドレスにお問い合わせください。

▼E メール: mfpssystem@pcf.city.hiroshima.jp

=====
■12月の平和首長会議会長訪問
=====

松井一寛広島市長・平和首長会議会長は、12月に次のような海外からの来訪者をお迎えしました。その際に平和首長会議の取組及び加盟要請への協力をお願いしました。

- * 12月4日(月) テュラニ・ロモ 駐日南アフリカ共和国特命全権大使
- * 12月13日(水) ルイ・タックユー 駐日シンガポール共和国特命全権大使

=====
■平和首長会議加盟自治体数: 162カ国・地域 7,536自治体
=====

本年1月1日付で、新たに22自治体が加盟し、平和首長会議の加盟自治体数は7,536(162カ国・地域)となりました。加盟促進に関する皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

日本国内では、8自治体が加盟し、国内加盟数は1,716(加盟率98.6%)となりました。

海外については、ドイツから、7自治体が加盟しました。副会長都市であり同国におけるリーダー都市であるハノーバー市の呼び掛けによるものです。また、オーストラリアからバロナ市が加盟しました。2016年12月広島平和文化センター職員が広島日豪協会親善訪問団とともに同市のデイビット・ライト市長に対して行った加盟要請が実を結んだものです。また、アメリカ合衆国からニューヨーク州イサカ市が加盟しました。昨年9月、長崎の被爆者である井原東洋一氏が、イサカ市のコーネル大学での講演に併せて、長崎市長からイサカ市長への加盟を呼び掛ける親書を持参したところ、同大の宮崎広和教授の協力を得て、今回の加盟が実現しました。この他、エチオピア、ガーナ、フランス、キルギスから計5自治体が加盟しました。

引き続き未加盟の近隣自治体や姉妹都市への働き掛けなど、皆様のご協力をよろしくお願いします。

▼1月1日付新規加盟自治体一覧(PDF)

http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/03_newmembers/2018/newmembers1801_jp.pdf

▼加盟自治体マップ

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/mercercity/map.html>

本メールニュースに関するご意見、お問合せ等は下記までご連絡ください

平和首長会議事務局

〒730-0811 広島市中区中島町1-5

(公財)広島平和文化センター 国際部 平和連帯推進課

TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452

Eメール: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp